

このページでは「いっしょに！OSAKINI プロジェクト」と題して 2021 年 4 月に設立された大崎町 SDGs 推進協議会（参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そののまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社）の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 47

大保 拓弥

(おおぼ たくみ)

事務局

ディレクター

大保です。協議会に参画してから約 1 年が経ちました！みなさまいつもありがとうございます！

昨年度は主に、「あなたとおおさき未来デザイン会議」をメインで担当させていただきました。全 5 回にわたり、地域事業者や住民の皆さんと大崎町の未来について対話をする場は、とても貴重で尊い時間でした。そこから生まれた 3 つの企画は、現在実践中ですので、ぜひみなさまにも参加していただければと思います！

住宅改修プロジェクト一歩前進！

～裏庭の清掃作業をおこないました～

昨年度から始まった「住宅改修における資源循環実証調査事業」では、いよいよ実際の空き家改修に着手する段階に入っています。

その第一歩として、4 月 12 日（土）、改修予定の物件である假宿の旧上町簡易郵便局にて、裏庭の清掃作業を実施しました。

当日は、大崎町役場・株式会社 LIXIL・鹿児島大学・大崎町 SDGs 推進協議会のメンバーが集まり、生い茂っていた草木を刈り取り、裏庭のごみを丁寧に分別・整理しました。

資源として再利用できるものと適切に処理すべきものを見極めながら、少しずつ整えられていく様子に、プロジェクトの前進を実感する一日となりました。

今後も、改修の過程を通じて見えてくる地域資源の循環の可能性を、広報誌を通して町民の皆さまにお伝えしてまいります。引き続き、ご注目ください！

BEFORE



AFTER



住宅改修における資源循環実証調査事業とは？

昨年 6 月に大崎町、鹿児島大学、株式会社 LIXIL、および大崎町 SDGs 推進協議会で、「資源循環実証調査事業」に関する協定締結式を開催しました。

プロジェクトでは、空き家を改修し、不動産として有効活用できるようにしたり、解体が必要な空き家の廃材を再利用することで、資源の貯蔵庫として活用することを目指しています。

公式 LINE アカウント

OSAKINI 回覧板

「OSAKINI プロジェクト」に関わる様々な情報や楽しいイベントをお知らせします！ぜひご登録ください。



お問い合わせ先

一般社団法人大崎町 SDGs 推進協議会

099-478-1487